保護者・地域の方への教育課程説明資料　　　　　　　　　　　　　　　令和５年度　練馬区立開進第三小学校　学校経営計画　　　　　　　　令和５年４月１日　　　校長　　岡部 良美

☆未来社会は目の前にいる子供たちが「創る」もの☆

教育基本法

学校教育法等

中央教育審議会答申

小中学習指導要領

文部科学省施策

緑の風ふくまちﾋﾞｼﾞｮﾝ

練馬区教育大綱

練馬区教委教育目標等

社会状況・要請・課題

開三小の教育目標（どのような子供を育てていくか）

子供の実態

学校・教師実態、願い

保護者の実態、願い

地域の実態、願い

　人的・物的環境

学校評価結果

国都による学力調査

学校経営により目指す子供の姿

子供一人ひとりが誇りと自信をもち、自分事で活躍できる学校を子供の姿で示す。

『誇りと自信をもって、自分事として活躍できる　開三小』

開三小で学ぶ子供一人ひとりが、社会や世界に向き合い、関わり合い、志高く

自分の人生を切り拓き、未来を創り出していくために必要な資質や能力を育む。

意見（計画・評価・改善）

説　明

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ビ　ジ　ョ　ン | 方　　　策 | 学校教育アンケート（11月にお聞きします） |
| 自分事となる子供を育てる教育・指導をする学校  ①子供よさを発見・褒める意図的・計画的・継続的・組織的な関わり  ②「わかる・できる・つかう・つくりだす」学習指導  ③「所属感・存在感・充実感・自己肯定感・共感力を育てる」生活指導  ④「楽しく、高まる」体育・健康指導  ⑤余白を大切にした学校生活  保護者・地域が魅力・活力・信頼を実感する、子供のために協働する学校  ①社会に開かれた教育課程の創造・実践を継続・定着（よりよい教育）  ②教育課程の見える化  ③地域に働きかける教育活動の実践の蓄積と深化  地域の人的・物的資源の教育活動への活用・企画・交流  ④幼稚園・保育園との連携  ⑤学校評価による教育の充実・更新・改善  学校運営協議会（学校・保護者代表・地域代表・地域学校協働活動推進委員） | ①よさを探す、認める、伝える。(認める、好感、応援、感動喜び、尊敬、感謝)  ②『探究開三小メソッド５』で「主体的・対話的で深い学び」のある授業（全授業で実施）  探究的な学びを充実  ☆子供が決めたルーブリック（学びの取組目標・到達目標、到達基準）に基づく学習  ☆振り返りの熟考。文章記述を１単位時間ごとに行う。  子供が自ら学習状況把握、主体的に学習を調整する力を育成。スパイラル化  ☆ﾀﾌﾞﾚｯﾄPCをバランスよく使う　　☆生活科・総合の充実 ➡「つかう・つくりだす」  ③みんなの子供をみんなで育てる生活指導を行う。（まとまって続けると強い）  ☆よいところみつけ名人・よいところのばし名人  ☆三つの「あ（あいさつ、あつまり、あるきかた）」名人の重点化  ④体力・運動意欲向上・健康・安全・食育の取組を具体的・定期的に行う  ☆休み時間を活用した体力向上　・保健指導、食育指導の継続  ⑤関わりが生まれる活動を進める  　　☆加減の教育『たて割り班活動』　☆探究的な学習や体験活動等、多様な他者との協働    ①年度初めに、教育計画の説明・共有・見える化（保護者・町会）  ②子供の姿を示す（保護者・地域）  土曜授業公開、学校行事、学校通信、ホームページ定期的更新  地域での学習活動への保護者参加  地域（町会・商店会）・  同窓会、保護者の力  ③地域活用した活動を年間指導計画に位置付け  地域の「人・もの・こと」の発掘を継続し、働きかける。  学校運営協議会による支援（計画・評価・承認）  　　教職員の地域活動参加。　子供たちの地域の行事・活動への参加  ④幼稚園・保育園児との交流を複数学年で実施、　　幼保の保護者へ広報  ⑤保護者や地域が評価できる学校評価ｱﾝｹｰﾄ実施、結果を教育課程編成に反映 | □子供は、自分のよさに気付いている。  □子供は、友達のよさに気付いている。  □子供は、自信をもって、学習・生活をしようとしている。  □教師は、子供が誇りと自信をもつことができる指導を進めている。  □教師は、開三小10か条をもとに三つの「あ」、基本的な規律の定着を目指して指導している。  □教師は、「わかる」「できる」学習指導を進めている。  □「探究開三小メソッド５」の授業により、子供は自分事で探究学習に取り組んでいる。【授業公開・ノート・思考シート等から】  □毎時間の到達・取組目標のルーブリックは、子供が主体的に学ぶことにつながっている。【授業公開・ノート・思考シート等から】  □子供は、「振り返り」を書くことで、自分事で学んだ成果を自覚し次の学びに広げようとしている。【ノート・思考シート等から】  □子供は、生活科や総合的な学習の時間の中で、自らの思いや願い・課題、問いをもち、解決・実現しようとしている。  □子供の体力に向上・改善が見られる。  □学校通信、保護者会、学校ホームページ等で子供の成長の様子や学習成果を伝えている。  □子供の成長を実感できる教育活動が行われている。  □教室や廊下の学習環境から、子供の探究的な学びの姿が分かる。  □地域と協働した教育活動は、子供に地域の創り手となる素地を育てることにつながっている。  □学校や教職員には、相談しやすい雰囲気がある。  □子供は学校に楽しく通っている。  □本校の教育に満足している。  基本方針の承認 |

地域へ協力依頼

地域へ情報提供

○豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となるための生きる力

２０３０年代～**２０４０年**の社会状況　＜社会は加速度的に変化＞(中央教育審議会答申、Society5.0）

＜予測がむずかしい社会＞　○人口減少　〇生産年齢人口減少　〇グローバル化進展　○少子高齢社会進行　　〇地方の過疎化　　○新型コロナウイスの感染拡大など新たな感染症の発生　　〇つながりの希薄化

　　　　　　　　　　　　　　○人工知能（ＡＩ）や技術革新の飛躍的進化（産業・働き方の変化、ＡＩが代替可能、必要なＡＩを作るのは人間）　等

○社会を牽引する人材となるための力